

リハビリテーション の紹介

リハビリテーションスタッフが利用者様から要望を聞き取り、個々にあったリハビリテーションを実施します。“生活行為上の問題点”や“その人らしい人生を歩む”ために必要な様々なリハビリテーションを展開しています。通常のリハビリテーションに加え下記のプログラムも取り入れています。

1. Honda 歩行アシスト

Honda歩行アシストは、「倒立振り子モデル」に基づく効率的な歩行をサポートする歩行練習機器です。歩行時の股関節の動きを左右のモーターに内蔵された角度センサーで検知し、制御コンピューターがモーターを駆動します。股関節の屈曲による下肢の振り出しの誘導と伸展による下肢の蹴り出しの誘導を行います。



2. HAL®

HAL®は身体機能の維持・向上を促進するロボットスーツです。装着することで、動かそうとする思いに合わせて動きをサポートしてくれます。脳から筋肉に送られる微弱な生体電位信号（BES）を表皮表面から検出し、各関節に配置されたパワーユニットを駆動します。

HAL®の実施について

医療保険において、緩徐進行性の神経・筋肉疾患（脊髄性筋萎縮症、球脊髄性筋萎縮、筋萎縮性側索硬化症、シャルコー・マリー・トゥース病、遠位型ミオパチー、筋ジストロフィー）により歩行機能が低下した方を対象としています。

あけあい会では、医療保険にはないがニーズが高いと思われる、脳血管障害やパーキンソン病などの疾患に対しても医師の指示のもと HAL®下肢タイプ・HAL®単関節タイプを実施しています。

介護保険内にて行いますので、電極（数百円／回）を除いては特別な費用は発生しません。



3. 免荷式歩行器 (POP0)

リフト機能で安全に立ち上がり、免荷機能で負担を軽減して歩行することが出来る歩行訓練器です。転倒するリスクを減らし、意欲的に歩行訓練に取り組むことができます

適応

脳卒中後の片麻痺の方、足の骨折後の荷重制限がある方、変形の関節疾患があり歩行に痛みを伴う方、足の筋力低下に伴い歩行に不安のある方など

効果

歩行距離の拡大、歩行リズムの改善、歩行安定性・荷重量・重心移動が向上、足の振り出しがスムーズになるなど



4. 川平法

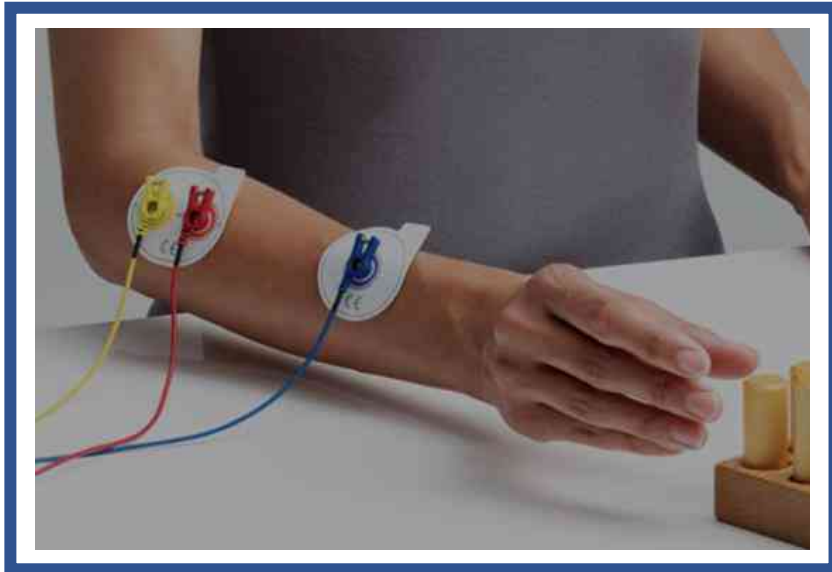
「川平法」は鹿児島大学 川平 和美 教授（霧島リハビリテーションセンター長）が開発されたものです。脳卒中後の片麻痺の回復を促進する治療法で、その治療効果が NHK スペシャルで紹介され、大きな反響を呼んでいます。当法人においても川平法の研修会を受講した理学療法士、作業療法士を中心に、入所、通所、訪問リハビリテーションにて実践しています。



5. IVES

随意運動介助型電気刺激を用いた IVES を導入しています。

IVES は装着した麻痺部から発信されるわずかな運動指令を読み取り、それに合わせた適切な電気刺激を出力して動きをサポートします。主に脳卒中などの中枢性の疾患の方に活用しています。



6. パワーリハビリテーション

高齢者用に作られたマシンを用いて、軽負荷で運動を行います。

姿勢を整えた状態で行いますので、普段使用しない筋肉が働きます。身体的、精神的に改善をもたらすパワーリハビリテーションは、様々な疾患に対しての効果を実証され高齢者のリハビリテーションプログラムとして確立しつつあります。

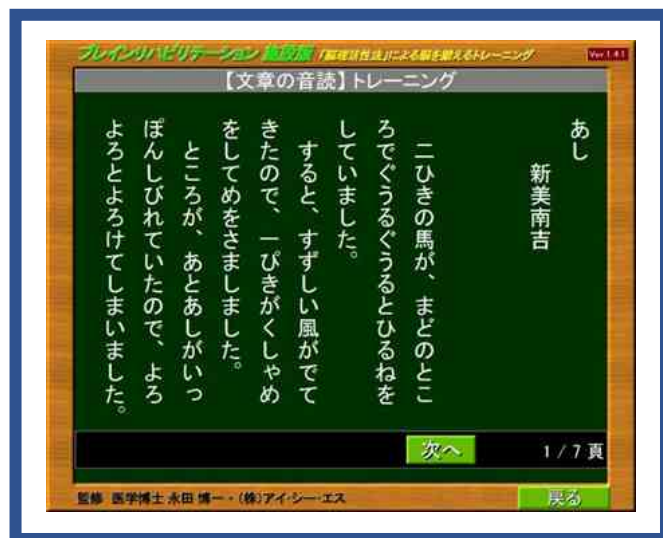


7. Brain Rehabilitation (ブレインリハビリテーション)

ブレインリハビリテーションとは、あけあい会が独自に開発した高齢者の衰えてきた脳を活性化するためのリハビリテーションです。

音読・計算を中心に対象者の合わせた難易度のプログラムを選択し、気軽に楽しめるリハビリテーションです。パソコンのタッチパネルを用いており操作が簡単です。

<http://www.brain-riha.jp/>



8. 言語・嚙下トレーニング (ST)

構音障害・失語症の方に対する言語訓練や間接的な嚙下トレーニングを実施しています。訪問リハ (ST) も実施しています。



9. 生活行為向上リハビリテーション（通所リハ）

通所リハビリテーションにて行う運動と、実際の場面で自信をつけてもらうリハビリテーションを組み合わせたものです。環境調整などにも応じています。



●通所リハで（バランス・屋外歩行等の練習）



●実際の場面での散歩コースの検討・練習

環境調整（福祉用具）



訪問リハビリテーション

●訪問リハビリテーションとは？

利用者様が可能な限り自宅で自立した健康的な日常生活を送ることができるよう、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などが御自宅を訪問し、心身機能の維持回復や日常生活の自立、地域活動への参加などに向けたリハビリテーションを行います。

訪問リハビリのメリット

- ①日常過ごされている環境でのリハビリ
- ②利用者様の身体能力に合わせた住環境整備
- ③ご家族様の不安や悩みを解消
- ④実際の場面で出来ることで自信が付きやすい



こんな方におすすめ

- ① 退院後、自宅での生活が心配な方
- ② 自宅での介助方法が知りたい方
- ③ リハビリをしたいが通うことが難しい方
- ④ 日常生活において出来ないことが生じるなど、不安を感じている方 など

訪問リハビリテーションを受けた感想（利用者様の声）

- ・ 10年間ほとんど外出していなかったが、今では一人でカラオケに行けるようになった。
- ・ 退院後、家での生活が心配であったが、訪問リハを経験して自信がついた。
- ・ 介護負担が軽減できた。
- ・ 訪問リハビリを通じて、家族以外の人と交流ができて良かった。
- ・ 目標を実現できて、やりたいことが増えた。

など

様々な要望にお応えできるよう ①リハステイ ②時間選択式通所リハ を提案しています。

リハビリテーションステイ (1 カ月程度の集中的リハビリ入所)






●リハビリテーションステイとは？

特に集中的なリハビリテーションを希望される利用者様に対して、期間限定 (1 カ月程度) で受け入れをさせて頂く入所サービスです。

●このような方にお勧めします

- 1 病院から退院を勧められたが、もう少しリハビリを継続したい方
- 2 片麻痺の後遺症の改善に取り組んでみたい方
- 3 生活の中で感じている課題動作や行為のさらなる上達にとりくみたい方
- 4 自分自身でできることを増やせるように頑張りたい方 など

1日の流れ (リハビリテーションステイ)

 <p>ラジオ体操</p>	6:00	起床・朝食
 <p>自主トレ動画 それでは始めます</p>	7:00	 <p>ビデオ体操</p>
	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
	17:00	
	18:00	
	19:00	
 <p>アクティビティー</p>	20:00	個別リハビリテーション

時間選択式通所リハビリテーション（各時間設定あり）

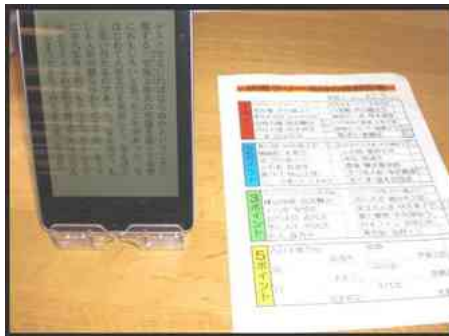
●時間選択式通所リハビリテーション

利用者様のライフスタイルに合わせて、ご利用時間をリハビリテーションに特化した短時間の利用（3時間～各時間設定あり）や最長6時間のご利用時間を選択して利用して頂くことが可能です。

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が個々のメニューを考え、利用者様と一緒に身体機能維持・向上、生活機能の獲得に向けて訓練をしています。

●豊富なアクティビティ

タブレットを使っての読書や各種ゲームなどで、脳の活性化を図ったり、ビデオを使ってご自身で取り組んで頂ける各種体操、屋外活動など、様々なアクティビティをご用意しています。



自主トレーニング

当法人では、少しでも意欲的に自主トレーニングを実施していただけるよう、その方の状態に応じたオリジナルの自主トレ動画を作成しています。いつでも好きな時に再生してトレーニングすることができます。



地域リハビリテーション

地域に所在する施設として、地域への貢献を目指したリハビリテーションを展開しています。



地域に在住する一般の方を対象とした公開フォーラムを開催しています。

「健康に向けた体づくり」「認知症予防」などについて、講話を行います。



施設周辺にウォーキングコースを設置し、散歩距離や歩き方、休憩場所などを記載したMAPを作成し、配布しています。

サロン活動の様子

